

数値目標の達成状況

No.	数値目標	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	達成状況
1	合計特殊出生率	1.23 H30年度	1.18	1.14	1.15	1.09	0.99		1.27 R6年度	未達成
2	20～29歳の市外への 転出超過数(5か年累計)	2,205人 H26～30累計	2,273人 H27～R1累計	2,373人 H28～R2累計	2,333人 H29～R3累計	2,299人 H30～R4累計	2,268人 R1～5累計	2,270人 R2～6累計	2,095人 R2～6累計	未達成

KPI（重要業績評価指標）の達成状況 ※詳細については資料2-2を参照。基準値は基本的にH30年度。

基本目標1 市民一人ひとりの幸せを大切にします

(※)：第3期活性化総合戦略においても引き続きKPIとして設定しているもの

No.	指標	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	達成状況(内部評価)	
1	地域包括支援センターの相談件数(※)	13,327	13,004	13,571	14,251	15,466	16,053	16,469	増加	A	
2	健康寿命(※)	男	77.3(H28)	—	—	—	77.7	—	—	延伸	A
		女	82.6(H28)	—	—	—	82.6	—	—		A
3	各種がん検診受診率(※)				(資料2-2を参照)				2-2参照	胃:D, 肺:A, 大腸:D, 乳:C, 子宮:B	
4	子育て環境や子育て支援についての満足度	22.7%	—	—	—	—	17.4%	—	増加	D	
5	乳幼児健康診査受診率(※)				(資料2-2を参照)				2-2参照	4か月:D, 1歳6か月:A, 3歳:D	
6	母子世帯の母親の就労状況	58.9%	—	—	—	—	58.6%	—	増加	D	
7	父子世帯の父親の就労状況	86.9%	—	—	—	—	82.8%	—	増加	D	
8	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学6年生	19.2%	—	15.2%	17.0%	12.1%	13.7%	—	増加	D
		中学3年生	12.8%	—	14.1%	11.6%	8.2%	11.5%	—	増加	D
9	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う児童生徒の割合(※)	小学6年生	90.5%	—	87.8%	88.1%	87.8%	84.3%	87.9%	増加	D
		中学3年生	83.6%	—	84.3%	88.9%	88.2%	86.9%	83.8%	増加	A
10	アフタースクール実施小学校の割合	43.5%	—	25.5%	24.0%	25.6%	25.6%	23.1%	50.0%	D	
11	南茅部高等学校入学者数	14人(R2)	—	14人	9人	14人	9人	4人	20人	D	

基本目標2 函館の経済を支え強化します

No.	指標	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	達成状況(内部評価)
1	観光入込客数	526万人	—	310万人	346万人	455万人	529万人	602万人	550万人	A
2	平均宿泊数(※)	1.27泊	—	1.13泊	1.24泊	1.31泊	1.26泊	1.29泊	1.28泊	A
3	外国人宿泊者数	55.1万人	—	0.2万人	0.1万人	9.0万人	37.4万人	56.8万人	増加	A
4	IT・ロボット等導入支援事業採択数(累計)(※)	3件(単年)	—	12件	25件	33件	40件	47件	39件	A
5	函館市内での旅行費用(飲食費)	9,502円(H29)	—	—	—	11,803円	—	—	5%増加	A
6	海外販路開拓事業者数(累計)	20社(単年)	—	19社	29社	44社	77社	103社	50社	A
7	企業立地件数(累計)(※)	2件(単年)	—	3件	8件	14件	27件	41件	8件	A
8	創業支援者件数(累計)(※)	381件(単年)	—	154件	458件	792件	1,180件	1,557件	1,800件	B
9	新規雇用者数(累計)	99人(単年)	—	72人	253人	444人	677人	928人	410人	A
10	課税対象所得	280.6万円	—	288万円	297万円	299万円	304万円	330万円	増加	A

基本目標3 快適で魅力あるまちづくりを進めます

No.	指標	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	達成状況（内部評価）
1	西部地区居住者の減少率	10.6% (H27～31)	—	—	—	—	—	10.9%	縮小	D
2	クルーズ船の寄港数（※）	27回	—	0回	1回	9回	47回	59回	70回	C
3	都市計画道路の整備率	76.5%	—	80.3%	80.3%	80.4%	80.5%	80.6%	80.9%	B
4	公共建築物の耐震化率	92.9%	—	94.6%	96.2%	97.0%	97.0%	97.0%	95.0%	A
5	路線バス利用者数の減少率（※）	バス▲3.3%< 人口8.1%	▲4.0%<9.4%	17.3%>10.6%	16.3%>11.9%	6.9%<13.2%	▲6.1%<14.7%	—	人口減少率 低下	A
6	スポーツ合宿の件数（※）	126件	—	25件	31件	38件	57件	68件	増加	D
7	縄文文化交流センター入館者数（累計）	101,657人 (H26～30)	—	18,307人 (R2)	48,145人 (R2～3)	85,081人 (R2～4)	116,632人 (R2～5)	147,426人 (R2～6)	85%増加 (R2～6)	C
8	一人一日あたりごみ排出量	1,155g	—	1,160g	1,121g	1,114g	1,099g	1,077g	1,093g以下	A
9	リサイクル率	15.1%	—	14.5%	15.0%	15.3%	14.7%	14.6%	20%以上	D
10	函館市UIJターン相談コーナーを通じて移住した件数（累計）（※）	7件(単年)	—	5件	12件	20件	25件	32件	35件	B
11	市・移住サポートセンターにおける移住相談件数（※）	74件	—	118件	158件	197件	127件	338件	増加	A

目標の達成状況 まとめ

	K P I	R2～R6実績に対する評価件数			
		A	B	C	D
基本目標1 市民一人ひとりの幸せを大切にします	20件	6件 30.0%	1件 5.0%	1件 5.0%	12件 60.0%
基本目標2 函館の経済を支え強化します	10件	9件 90.0%	1件 10.0%	0件 0.0%	0件 0.0%
基本目標3 快適で魅力あるまちづくりを進めます	11件	4件 36.3%	2件 18.2%	2件 18.2%	3件 27.3%
計	41件	19件 46.3%	4件 9.8%	3件 7.3%	15件 36.6%

※ 内部評価（目標値に対する実績値の達成率）

- A：100%
- B：80～99%
- C：60～79%
- D：59%以下(基準値を下回るものを含む)
- ：把握不可または現状で評価不可

なお、R6実績値のない項目については、直近の実績値を用いた評価とする。

- ・令和元年（2019年）末から始まった新型コロナウイルス感染症の流行やロシアのウクライナ侵攻の長期化などを背景としたエネルギー価格や物価高騰などにより、各種施策の実施においては相当程度の影響を受けてきた。
- ・事業形態や規模の縮小により、当初想定していた効果が得られなかったものもあった一方で、コロナ禍をひとつの契機としてテレワークが急速に普及し、地方への移住や活動拠点の複数化の検討が進むなど、マイナスの影響だけではない側面もあった。
- ・このような複雑な状況の中、これまでの会議において、社会情勢の変化が大きく、単純な数字の増減では各項目の正確な評価は難しいのではないかという意見も出されたところであるが、掲げた目標に対する進捗状況を確認する中で、取組の改善を図ってきたところである。
- ・数値目標に関しては、いずれも当初の基準値を下回り、今後課題を残す結果となったところであるが、各基本目標における個別のKPIに関しては、全体を通じて概ね6割以上の達成状況となっており、一定の成果があったものと捉えている。
- ・第2期戦略で明らかになった課題に関しては、引き続き第3期戦略においても取組を進めていく。